

将来社会創造アプローチの展開 —未来構想立案の実践と手法—

日 時 : 2010 年 7 月 30 日 (金) 13:05-16:50

会 場 : キャンパスイノベーションセンター 国際会議室

(JR 山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩 1 分、都営三田線・浅草線三田駅下車 徒歩 5 分)

主 催 : 横幹技術協議会、横幹連合

参加費 : **横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。**

【上記以外】一般 5,000 円

参加申込 : 【事前登録】オンライン申込 http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum_27_1.cgi?step=1

又は、下記の参加申込書にご記入のうえ、fax、電子メールにてお申し込みください。

(氏名、所属、連絡先 **Email**、**TEL** 等をご明記ください。)

【当日申込】当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】

新しい資源エネルギー態勢の模索と移行、新興国経済の劇的な躍進、文化・経済の世界緊密化など、激動する事業環境にあって、将来社会の構想力が強く問われている。シナリオプランニング、デルファイなど、かつての未来学における手法が、情報通信技術の進展やその社会展開を取り込んで、複雑化した今日の社会環境にも通じるように、新たな姿を形作りはじめている。最新の将来社会の構想化の実践例やその方法論の動向をレビューし、将来社会の創造に結びつける方策を探求する。

【プログラム】

	(敬称略)
13:05-13:10 開会にあたって	総合司会: 船橋 誠壽 (横幹連合 事務局長) 桑原 洋 (横幹技術協議会 会長)
13:10-13:45 ◆ 講演 1 低炭素社会はどんな社会か? ～ビジョン構築とその定量化手法～	藤野 純一 (国立環境研究所 主任研究員)
13:45-14:20 ◆ 講演 2 眠っているドラゴンを起こす 2 つのゲーム ～都合学からのチャンス発見アプローチ	大澤 幸生 (東京大学 教授)
14:20-14:55 ◆ 講演 3 予測市場と集合知メカニズムの現状と展望	山口 浩 (駒澤大学 准教授)
14:55-15:30 ◆ 講演 4 イノベーションを生み出す IBM の取り組み ～リサーチの視点から～	板倉 真由美 (日本 IBM ㈱ 部長)
(15:30-15:45 休憩)	
15:45-16:45 ◆ 総合討論 将来構想化のレシピ	司会: 太田 敏澄 (電気通信大学 教授)
16:45-16:50 閉会にあたって	木村 英紀 (横幹連合 会長)

将来社会創造アプローチの展開 —未来構想立案の実践と手法—

2010年7月30日（金）13:05-16:50 （キャンパスイノベーションセンター 国際会議室）

【講演要旨】

（敬称略）

講演1

「低炭素社会はどんな社会か？～ビジョン構築とその定量化手法～」

◆ 藤野 純一(国立環境研究所 主任研究員)

演者は2004年から「脱温暖化2050プロジェクト」 (<http://2050.nies.go.jp>) の幹事として、日本の二酸化炭素排出量を2050年までに70%削減するビジョンと実現するロードマップ作りに携わってきた。本フォーラムでは、2050年の人々が住みたいと思えるような社会像を叙述しモデルを用いて実現する方策を定量化する手法を紹介する。

講演2

「眠っているドラゴンを起こす2つのゲーム～都合学からのチャンス発見アプローチ～」

◆ 大澤 幸生(東京大学 教授)

都合を探り合い不整合を指摘しあう会話は創造性を阻害するように見えるが、実は意思決定を左右するアイデアの創出に推進力をもたらす。この推進装置を、楽しいゲームで実現した。

ビジネスシナリオを竜に喩えると、架空の竜を創造するよりも竜の飛翔軌跡を予測するよりも、眠っている竜を起こすことが困難かつ有益である。様々な制約に縛られ活動意図を失った竜を起こすために、様々なステークホルダーの意図と制約すなわち「都合」の構造を可視化して突破口を見出す方法がイノベーションゲーム(Analogy Game & Innovators Market Game)である。

講演3

「予測市場と集合知メカニズムの現状と展望」

◆ 山口 浩(駒澤大学 准教授)

講演4

「イノベーションを生み出す IBM の取り組み～リサーチの視点から～」

◆ 板倉 真由美(日本 IBM(株) 部長)

企業にとってイノベティブであることとは、自らの今日の成功にあぐらをかくことなく、その先を目指すことであり、イノベティブであり続けようとするとは、それ自体が大きな矛盾を抱えることでもあります。IBMは、イノベーションを生み出し続けるためのさまざまな方法や工夫を持ち、かつその仕組み自体も変革し続けています。本セッションでは IBM がイノベティブであるための、またあり続けるための戦略についてご紹介します。

<第 27 回横幹技術フォーラム 申込書>

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

交通案内

キャンパス・イノベーションセンター

住所：東京都港区芝浦3-3-6

最寄駅：JR山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩1分)、都営三田線・浅草線三田駅(徒歩5分)

